

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
3 -	自然環境の保全を推進する	環境部、まちづくり政策部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値					5 年度 目標値
		改訂計画 策定時	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	
里山保全活動への参加者数（年間）	人	468	62	126	274	297	470
環境学習への参加者数（年間）	人	1,804	19	191	383	916	2,000

関連事業				
○環境活動促進事業○里山保全推進事業○生物多様性保全推進事業○西部丘陵地域資源まちづくり支援事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	7,146	5,465	5,626	2,025
執行率（％）	83.76	97.26	95.88	96.80

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
・里山保全協議会による下草刈りや樹木の伐採など、里山の整備・管理を行うとともに、神奈川県とともに市民活動団体を支援することで、里山の保全・再生に努めました。また、「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」をモデルとして、産官学民の協働で地域資源である里地里山を保全・再生するための検討を進め、協議会主体で開設した農作業学習体験農園の運営を支援しました。 ・環境ファンクラブ会員によるパネル展示、環境市民講座や活動発表会のほか、こども環境教室を開催し、環境意識の向上を図りました。 ・平塚市生物多様性保全アクションプランに基づき、自然環境アドバイザー派遣制度を創設するとともに、調査員養成講座を開催し、生物多様性への理解と保全活動の促進を図りました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」
・貴重な地域の自然環境を持続的に保全するとともに、より地域に密着した保全活動とする必要があります。また、自然との触れ合いの機会を拡充する必要があります。 活動内容やイベントに関する情報発信を行い、特に若年層の関心を誘発し、市民主体の里山保全活動を促進します。また、西部地域では、自然環境と調和したまちづくりに向けて、地区まちづくり協議会や研究機関などと連携して、地域資源を活かした取組を進めます。 ・市民の環境問題への関心を高め、意識の向上を図る必要があります。

こども環境教室のプログラムや情報発信の手法を適宜見直すとともに、市民団体や関連企業との連携を強化し、効果的な環境教育を推進します。

- ・生物の生息・生育空間の連続性や適切な配置に配慮する必要があります。

平塚市生物多様性保全アクションプランに基づき、市民団体や企業との協働による自然観察会やパネル展を開催し、生物多様性の保全活動を着実に推進します。